

県土整備部の

自動車関連産業の支援について

概要

平成 16 年 3 月に策定した「岩手県港湾ビジョン・アクションプラン」により平成 16 年 9 月に物流関係者や各道路管理者、港湾管理者が連携して実車による道路現況調査を実施し、内陸部と沿岸部を結ぶ道路について問題点を把握し、改善に取り組んでいます。

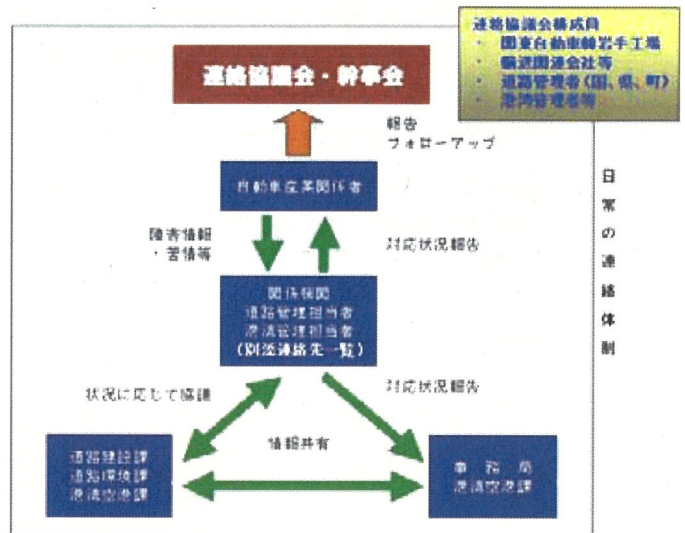
関東自動車工業の平成 17 年 10 月からの増産体制に対応して、県として陸送を支援することが急務となっていることから、この度、運送業者、荷主の皆様と道路管理者、港湾管理者が一堂に会して情報交換をする場として、「自動車産業の物流を支援する連絡協議会」を設置しました。

この連絡協議会は、釜石港の利用を前提とした物流に関して道路状況を調査し、問題箇所を明らかにするとともに、必要な対策を迅速かつ確に行われることを主たる目的としています。

自動車産業支援体制について

釜石港を利用する自動車産業の物流に関して、物流関係者、道路管理者、港湾管理者が道路環境及び港湾利用の課題を共有化し、利用する道路・港湾施設等の良好な維持と改善を図る取り組み

連絡体制フロー図



道路現況調査結果

平成 16 年 9 月から 11 月にかけて、キャリアカー等の実施走行により、重要港湾と内陸の集荷施設とを結ぶ道路の現地調査を行った結果は以下のとおりです。

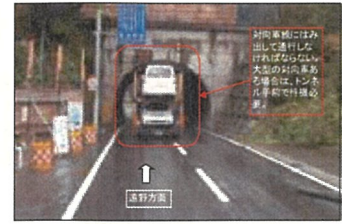
港湾名	主要調査ルート	改善要望箇所数	要望内容
久慈港	国道 281 号、340 号、 県道戸呂町軽米線	15 箇所	急カーブ、路面不良、 路面凍結、支障木等 36 項目
宮古港	国道 106 号 県道宮古港線	12 箇所	急カーブ、はみ出し、 路面不良、路面凍結、 視界不良等 30 項目
釜石港	国道 283 号、396 号 国道 4 号 金ヶ崎町道	48 箇所	急カーブ、はみ出し、 支障木、路面不良、路 面凍結、視界不良等 114 項目
大船渡港	国道 397 号、107 号	11 箇所	急カーブ、はみ出し、 路面凍結、視界不良等 51 項目
合計		86 箇所	231 項目

海と陸との物流ネットワーク

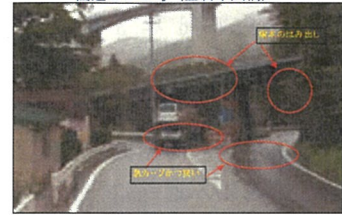


釜石港の調査結果の概要

- 調査年月日 : 平成16年9月28日
- 主要調査ルート: 国道283号、国道396号、国道4号線、金ヶ崎町道
- 主要調査箇所 : 釜石港～遠野市～宮守村～大迫町～紫波町～盛岡市～金ヶ崎町～花巻市～東和町～宮守村～遠野市～釜石港
- 参加団体: 県港湾空港課、道路建設課、道路環境課、釜石・遠野・花巻・盛岡地方振興局、釜石市、金ヶ崎町、トヨタ輸送㈱、東日本物流㈱ほか
- 想定主要貨物 : 完成自動車
- 調査時使用車両: キャリアカー (4台積み)
- 結果
 - ① 改善要望箇所: 50箇所
 - ② 主な内容: 急カーブ、はみ出し、支障木、路面不良、路面凍結、視界不良等



国道283号 (釜石市大橋)



国道283号 (釜石市洞泉)

「自動車産業の物流を支援する連絡協議会及び幹事会」合同会議を開催します。

この度、「自動車産業の物流を支援する連絡協議会」(以下、「連絡協議会」と呼ぶ)及び「連絡協議会幹事会」の合同会議を下記により開催することといたしました。

- 記
- 1 開催日時: 平成17年6月9日(木) 14時～16時
 - 2 開催場所: 盛岡地区合同庁舎8階大会議室
 - 3 参集範囲: 連絡協議会構成員、幹事会構成員

釜石港と内陸の工業団地を結ぶ基盤整備状況

産業の振興を支援する事業の推進

釜石港～内陸の工業団地を結ぶ基盤整備

平成16年9月28日、釜石港と内陸部を結ぶ貨物輸送ルートにおいて、キャリアカーの実走走行による調査を行い、円滑な走行に支障となる箇所及び障害項目を抽出しました。

キャリアカーの走行に支障となる114点の障害項目の解消率は、平成16年度に47.4%、平成17年度に59.6%、平成18年度に80.7%、平成19年度に87.7%、平成22年度までには93%となります。

仙人峠道路の整備効果

- 道路の片側のアクセスが向上し、走行時間が4分から15分前後に短縮
- 安全な走行の確保が図られます

キャリアカーの走行の利便性となりました

釜石港改修の整備効果

- 多目的空間のミナマルプロジェクトの推進
- 大規模災害への対応力強化

凡 例

線色/ルート	説明
—	主として岩手県内陸部
—	主として岩手県沿岸部
—	平成10年度調査
—	平成11年度調査
—	平成12年度調査
—	平成13年度調査
—	平成14年度調査
—	調査